

## 「救急搬送に及ぼすかかりつけ医関与の実態について」 田中いつみ

### ●地域における「気づき」の言語化と調査の動機

現在地域の近隣拠点病院である近江八幡市立総合医療センター（以後、OCMC）にて勤務をはじめ、弓削メディカルクリニック（以後、弓削）より救急紹介患者を受け入れしているが救急外来カルテを見ても弓削からの紹介が目立つように感じた。家庭医療クリニックがかかりつけであることは救急外来受診の適正化が図れているのではと考えた。

### ●内容がどのような地域・コミュニティの課題やニーズと関係しているか

かかりつけ医の有無が救急搬送件数に関連しているのではないか。地域におけるかかりつけ医の必要性と救急搬送・救急外来受診との関連、家庭医診療所をかかりつけとしていることが救急外来受診に及ぼす影響、字間での救急外来受診の比較など

2019年 滋賀県内のデータ

救急出場件数65465件（113件↓）このうち43751件（66.8%）が急病

救急搬送人数 61046人 40858人（66.9%）が急病

交通事故 344件 建物等の事故 178件 水難事故 64件 機械による事故 22件

## 【 救急統計 】

### 地域別・署所別救急出動状況

地域別 \ 事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計
近江八幡市	8		2	139	15	15	251	5	13	1,115	145	6	1,714
東近江市	10			143	27	17	341	7	39	1,380	208	8	2,180
日野町	4			21	4	3	53		2	275	37		399
竜王町				30	2	1	33		1	153	37		257
愛荘町	3			41	7	7	68	4	3	242	7	5	387
名神高速道				9	1		1			3			14
管外				1			1						2
合計	25		2	384	56	43	748	16	58	3,168	434	19	4,953

●竜王町のセッティング

内科開業医が4件、整形外科開業医が1件あり、その他の専門医は近江八幡市内クリニックにかかることが多い。小児科に関しては弓削・竜王で対応しているが小児科専門医は近江八幡市内クリニックが利用されている。

●Primary dataの収集

概略としてOCMC救急外来受診した竜王町住所の患者を2021/1/1-6/30にまで受診した433人を抽出、カルテを確認し医師指示での継続治療を要するものを除く416人を検討した。（注弓削：弓削メディカルクリニック、竜王：竜王町立国民保険診療所）

◆かかりつけ医と救急搬送の関係

紹介あり		かかりつけ有		かかりつけ無	
		入院	全体	入院	全体
	救急車	34	38	0	2
	独歩	31	61	1	3
計		65	99	1	5
紹介なし		入院	全体	入院	全体
	救急車	48	95	7	25
	独歩	19	86	9	63
計		67	181	16	88

かかりつけがあり、紹介ありで受診した65/99人(65.6%)、かかりつけがあり紹介なしで受診した67/181人(37.0%)と紹介ありで受診した患者の方が入院率が高かった。また、かかりつけがない患者でも16/88人(18.2%)

入院するという転機が救急受診の適正利用の基準の十分条件でしかないことは把握しているが今回は抽出の限界を考えこれを適正利用の基準とした。

◆家庭医とその他の開業医との救急受診時の紹介の有無

	弓削・竜王	他院	計
紹介あり	83(うち竜王12)	9	92
紹介なし	67(うち竜王12)	92	159
計	150(うち竜王24)	101	251

という仮説に対して上記より弓削・竜王は83/150(55%)、他院9/101(8.9%)と有意にかかりつけを受診してからの直接紹介が多いことがわかった。

◆受診時傷病名

外科	60	神経内科	15	心臓血管外科	1
循環器内科	42	脳外科	15	眼科	1
小児科	42	耳鼻咽喉科	14	分類不能	76

